第1学年通信　第7号　令和8年10月30日

わだち　～ 輪を大切に、仲間を大事に～

“結果”はゴールではなくスタート

　2026年も残すところ2か月となりました。中学校に入学してから、学習や部活動、人間関係など新しい環境の中で過ごしてきました。あなたは今、自分の成長をどれくらい感じていますか。

　できるようになったことや新しい発見がある一方で、「またやってしまった」「ここが苦手だな」と感じることもあるかもしれません。11月は、自分の結果との向き合い方について考えてみましょう。

　10月には中間テストがありました。テストには必ず結果がついてきます。しかし、本当に大切なのは結果だけではなく、そこに至るまでの過程を振り返ることです。

　今回のテストに向けての準備はどうでしたか。

① 家の人に言われたからやった
② 前回より頑張ろうと決めてやった
③ 将来の目標のために頑張った
④ やろうと思いながら準備しなかった
⑤ 気づいたらテスト当日だった
⑥ テスト範囲もよく分かっていなかった
⑦ ゲームやスマホを今後も使うことができるように頑張った

　当てはまるものはありましたか。

④⑤⑥の人は、まず計画を立てることから始めてみましょう。
「いつ・何を・どれくらいするか」を決める習慣が大切です。
①の人は、少しずつ自分で目標を決めて取り組むことを意識してみましょう。
②③⑦の人は、自分なりの目標をもって努力できることが強みです。
結果だけでなく、「次はどうするか」を考えることを大切にしてください。

　結果は、次の行動を決めるための大切な情報です。
　◎結果を事実として受け止める
　◎うまくいったことと改善点を振り返る
　◎明日から変える行動を一つ決める
　◎周りの人のアドバイスを活かす

　結果は、あなたの価値を決めるものではありません。

　思うような結果でなかったとしても、「なぜそうなったのか」「次に何を変えるのか」を考えることができれば、その経験は成長につながります。

　11月は、結果をただの評価ではなく、自分を成長させるためのヒントとして見つめてみましょう。自分の結果をごまかしたり、目を背けたりすることは、あなたの成長を止めてしまうことになります。だからこそ、明日からできる小さな行動目標をひとつ決めて実践してみてください。その積み重ねが未来の自分をつくっていきます。

　11月も素直に真面目にがんばる城西中学校1年生でありましょう！

～結果と向き合うときに支えとなる言葉～

★結果はゴールではなく、次に進むための答えだ。

★うまくいかなかった日は、ダメな日ではない。
　学びが見えた日だ。

★結果がすべてではない。
　結果までの自分の姿勢が、これからの自分をつくる。

★報われるかどうかより、
　積み重ねたことに目をむけよう。

★思い通りにならなかった現実も、前に進む材料に変えられる。

【11月の予定】

日	曜	行事予定	日課	給食
1	日			
2	月	秋季遠足【北淡震災記念公園、須磨シーワールド】 8:00出発　17:45帰校予定		弁当
3	火	文化の日		
4	水	⑥金6 放課後:硬筆技能検定	(45)	○
5	木	南海トラフ大地震津波避難一斉訓練 放課後:校内除草作業		○
6	金	放課後:漢字検定	(45)	○
7	土			
8	日			
9	月	⑤⑥パラアスリート講演会 放課後:校内除草作業		○
10	火			○
11	水	⑤月5、⑥なし		○
12	木	県・市合同訪問		○
13	金	⑥なし 放課後:数学検定	(45)	○
14	土			
15	日			
16	月	⑤⑥生徒会役員改選		○
17	火			○
18	水	13時一斉下校　午後生徒臨休 (市ブロック別人権教育研究大会のため)	(45)	○
19	木	職員会議		○
20	金	学校安全の日		○
21	土			
22	日			
23	月	勤労感謝の日		
24	火	月曜日課		○
25	水	2学期末テスト①(英語・国語・保体)		○
26	木	2学期末テスト②(数学・技家・社会)		○
27	金	2学期末テスト③(音楽・美術・理科) 生徒会専門委員会		○
28	土			
29	日			
30	月	⑥火6		○

【12月の予定】

9日(水)～18日(金)　三者面談
23(水)　終業式

◇ 保護者の皆さまへ

【読み聞かせボランティアメンバー募集のご案内】

　毎週金曜日の朝(8時5分～15分)、3年生と支援学級で読み聞かせをしてくださっている「ピーターパン」のボランテイア活動は、24年間続く、子どもたちの心を育む活動です。

　現在、ご都合のつく範囲でこの活動を支えてくださる保護者の方を募集しています。興味のある方は、学校までご連絡ください。

　2学期も折り返しです。中学生は、身体の成長はもちろん、心にも大きな変化が起こる時期です。自分でもどうにもできない気持ちや葛藤を抱えていることもあるかもしれません。じっくりと話を聴く機会をつくり、ご家庭と学校の両輪でお子さまの成長を支えていければと考えております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

出前授業を通して学んだこと

10月2日(月)、徳島県建設業協会徳島支部と県土整備部建設管理課の方々を講師にお迎えし、「地域の安全や暮らしを支える建設業の役割について学び、防災への意識を高めること」を目的に出前授業を実施しました。

～ 生徒の感想から ～

① 災害時に活躍する建設業の役割を知った

建設業は家や道路をつくる仕事だと思っていましたが、地震や土砂災害の時に道路を復旧し、人命救助を支えていることを初めて知りました。

② 当たり前の生活を支えていることに気づいた

普段使っている道路や橋、学校や家などは建設業の方々によって支えられていることが分かり、感謝の気持ちをもちました。

③ 建設業に対するイメージが変わった

力仕事だけのイメージでしたが、ICT やドローン、パソコンなどを活用する仕事もあり、新しい発見がありました。

④ 建設業への興味が高まった

これまであまり興味はありませんでしたが、話を聞いて仕事の内容や魅力が分かり、興味をもつことができました。

⑤ 将来について考えるきっかけになった

女性も活躍していることや様々な職種があることを知り、将来の選択肢が広がりました。

出前授業を通して、生徒たちは建設業が地域の安全や防災、私たちの暮らしを支える重要な仕事であることを学びました。

また、災害時にはいち早く現場に駆けつける役割や、ICT を活用した新しい働き方など、多くの発見があったようです。自分たちの生活を支える仕事について理解を深め、防災について・将来の進路について考える貴重な機会となりました。

はじめに、建設業について説明していただきました

災害時には、道路啓開（いち早く道路を復旧せせる）ことが建設業の方々の大きな仕事となることを教えていただきました

PTA の方も参加してくださいました

クラス毎に建設業に携わる方がついてのグループ討議

最後に生徒代表よりお礼の言葉を伝えました

質問タイムでは、

Q.。給料高いですか？

Q.。一番怖かったことは？

Q.。いままで造ったものの中で一番印象に残っていることは？

など興味・関心の高まりが伺える時間でした

＜番外編＞

出前授業後に、【震災時の避難所での生活を考える】というテーマで藤川教頭先生にお話いただき、避難所で使える『新聞紙スリッパ』づくりに挑戦しました